

科目名	歌曲史	授業期間	通 年
担当教員	村田千尋	科目 No.	CMC2242
受講対象	全専攻 2～4年	単位数	4単位

目 標 ／ 概 要	<p>人類が「歌」に託してきたものは何か。バロックから現代までの様々な事象を考察し、「歌曲」演奏の意義と目的、考慮すべき諸問題を明らかにする。それによって、「歌曲演奏（伴奏を含む）」・「歌曲研究」のための基本的態度を獲得することを目標とする。</p> <p>授業では、できるだけ多くの詩や音楽を分析することによって考えていきたい。</p> <p>現段階（2017年1月）では以下のような内容を想定しているが、今後、大幅に変更する可能性もある。4月の開講時に詳しい講義案内、受講上の注意事項を配付する。</p>
-----------------	--

授 業 計 画	春 学 期					
	1	第1部	ドイツ・リートの世界	序章：ドイツ・リートへの誘い		
	2	第1章	ルネサンス多声リートから通奏低音リートへ	第2章：ベルリン・リート楽派と啓蒙主義リート		
	3	第3章	芸術リートへの歩みと独文化	1（朗誦・通作）		
	4	第3章	芸術リートへの歩みと独文化	2（伴奏・芸術リートの誕生）		
	5	第4章	芸術リートの誕生			
	6	第5章	19世紀前半における芸術リート（シューベルト）	1（旋律性・朗誦性・形式）		
	7	第5章	19世紀前半における芸術リート（シューベルト）	2（伴奏と描写・連作）		
	8	第6章	19世紀中頃のリート	1（シューマン）		
	9	第6章	19世紀中頃のリート	2（シューマンの同時代者）		
	10	第6章	19世紀中頃のリート	3（ブラームス）		
	11	第7章	19世紀末のリート	1（H. ヴォルフ）		
	12	第7章	19世紀末のリート	2（マーラー）		
	13	第8章	20世紀のリート（シェーンベルクと現代リート）	1（表現主義）		
	14	第8章	20世紀のリート（シェーンベルクと現代リート）	2（20世紀の叙情）		
	15	第9章	19世紀リートと20世紀リート			
	秋 学 期					
	1	第2部	フランス、イタリア、日本の歌曲を巡って	序章：フランス・メロディへの誘い		
	2	第1章	ルネサンス以前の世俗声楽曲			
	3	第2章	バロックの始まりとモノディー			
	4	第3章	ロマンスとカンタータ	第4章：19世紀前半のフランス歌曲（バルリオーズ）		
	5	第5章	フランス音楽復興期のフランス歌曲（グノーとビゼー）			
	6	第6章	メロディーの盛期（フォーレ）			
	7	第6章	メロディーの盛期（ドビュッシー）	1（ヴェルレーヌ）		
	8	第6章	メロディーの盛期（ドビュッシー）	2（歌曲とピアノ曲）		
	9	第6章	メロディーの盛期（ラヴェル）			
	10	第7章	メロディーとエスプリ（サティとフランス六人組、そしてメシアン）			
	11	第8章	メロディとエスプリ（動物たちの音楽）			
	12	第9章	イタリアの歌曲			
	13	第10章	ロシアの歌曲			
14	第11章	日本の歌曲	1（20世紀前半）			
15	第11章	日本の歌曲	2（20世紀後半）			

準備学習の内容	復習を怠らないこと。 受け取り損ねたプリントについては、各自で手配すること。					
履修上の注意	出席を重視する。 万が一欠席する場合は、必ず事前に欠席願いを提出すること。					
評価方法	試 験	課題(レポート含)	発 表	平常点	その他	合 計
		100%		○		100%
	補 足	夏期休暇および冬期休暇中に各1通のレポートを課し出席率を加味して評価する。				
教材等	プリントを配付し、必要に応じて講義中に紹介する。					